



せいひ会だより

2013年(平成25年)
3月1日発行
<第155号>
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>

H25.2 節分（通所にて）



2月の行事

- 1日 寿限無創立2周年記念写真展
- 2日 豆まき（通所・じゅげむ）
- 3日 豆まき（GH・風和・寿限無）
- 6日・20日 書道教室（元亀・通所・丘の家・GH）
- 17日 歌の発表会（風和）
- 18日 誕生会（元亀・通所）
- 22日 通報訓練（風和）



季節の変わり目には邪気が入りやすいと考えられていたことから、邪気払いのために始まったとされる豆まき。豆を投げるのは「魔を滅する」意味があるそうです。豆まき一つでも、調べれば調べるほどいろいろな由来がでできます。

古くから伝わるものは深い意味を持っているんですね。その意味を知りながら大切に伝えていきたいものです。

3月の行事予定

- 2日 ひな祭り（通所・じゅげむ）
- 3日 ひな祭り（GH・風和・寿限無）
- 6日・20日 書道教室（元亀・通所・丘の家・GH）
- 11日 陶芸教室（通所）
- 18日 誕生会（元亀・通所）



感染症対策について

県内でもまだまだインフルエンザ等の流行が見られています。せいひ会の各施設でも、ご利用者との面会の際は、手指消毒やマスク着用とともに、面会場所を限らせていただくなど、感染症対策を実施中です。どうぞご理解とご協力をお願いします。

☆2月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



子供の頃は、近所の子供達と縄跳びや手毬つきをして遊んでいた。母親・祖父母は農業をしており、時々手伝いもしていたとのこと。「家は土地の広かったけん、人に土地ば貸したりよった」「今は学校とかに土地ば売ってしもうて、あんまいなかごとなつた」そうだ。若い頃は、近くの中学校などで用務員として働いていた。

老後の楽しみとして、家の横を高校生が通学したことから、「若い人が通るとば見て元気ばもらいたい」とのこと。

現在、元亀の里に入所されているが、「皆と同じように生活できていますよ」「ご飯は美味しいし、感謝しています」とのこと。ただ、最近膝が痛むのが気になる様子だった。家族の話になると、「息子は優しかし、嫁さんは朝早うから夜遅うまでよう働いてもうて感謝しています」と嬉しそうに話された。

「ご先祖さんが土地ば残してくれて、後継ぎもできどる安心です」と満足されていた。

-2-

Vitality Space

バイリティースペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの活動には、このバタリティの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。

うたの時間



風和

歌の発表会



2/17、風和の里ふくろうホールで行われた歌の発表会では、各ユニット、春にちなんだ歌が披露されました。この日のために歌の練習はもちろん、当日につけるおそろいの花飾りを手作りする等、皆さん準備で大忙し。そんな中、見事優勝を勝ち取ったのは「春の小川」を歌った西ユニット! 特にすばらしい歌声を披露された方には個人賞も贈られました。

元亀



鬼は～外! 福は～内!

GH

節分では、各事業所ごとに楽しい豆まきが行われました。その様子をご紹介します!



近所から、かわいい鬼と福の神が豆まきに来てくれました。毎年ありがとうございます。

鬼だけではなく、なぜか侍も登場したじゅげむの豆まき。鬼型ロボットへの玉入れゲームでは、白熱の戦いとなりました。



じゅげむ

お面は利用者皆さんの手作り。作者に似たのか、鬼なのになんとなく優しさがにじみ出ています。



寿限無

男性鬼には「あっちに行け!」と豆を当て、女性鬼には「こっちにおいで!」と豆を手渡し(笑)。そんな場面が見られた豆まきでした。

風和

通報訓練

2/22、風和の里で通報訓練を行いました。実際に119番へ通報、消防署とのやりとりを訓練しました。日頃からこういった訓練を行うことで、いざという時のために備えています。



長崎の冬を彩るお祭りとして、すっかり定着したランタンフェスティバル。そのメインイベントの一つ「媽祖行列」に、せいひ会職員も参加、お祭りの盛り上げに一役買ってきました。



チャイドレム、セツでしょ!?

ケアマネ 敏美 の独り言

〈大嫌いな自分〉

先日、愛媛県の従弟が45歳の若さで逝ってしまった。自分と一緒に「やんちゃな奴」だった。お互いの武勇伝を自慢しながら「呑み交わす酒」は美味しいでたまらなかった。残念で悲しくてならない。・・・だけど、涙が全く出ない。この世界に飛び込むとき、叔母から「この世界は人の死に直面しなければならない。お前に耐えられるか?」と言われたことを思い出す。実際、この世界に入って、初めて人の死に直面した時、ご家族の前で号泣してしまった。・・・なのに、今はというと「自分の身内の



死」に直面しても「涙」が出ない。むしろ「冷静な自分」がいる。悲しい感情や淋しい感情はあるが、やはり「冷めた自分」がここにいる。そんな自分が「大嫌い」でならない。この世界に入り、数えきれないほどの「人の死」に直面してきた。今の冷めた自分は「ある種の自己防衛」であろう。しかしながら自分が大嫌いで大嫌いでならない。若い頃の、「真っ直ぐな気持ち」を取り戻したい。無理だろうけど・・・(哀)。

今夜はやけ酒だあ〜!!!